

---

# きゅうり ペン おじいさん

悲劇のM

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

きゆうり ペン おじいさん

### 【Nコード】

N9697F

### 【作者名】

悲劇のM

### 【あらすじ】

三つのお題を貰って作ったお話。2ちゃんねるのVIP発です。

眩しいほどに緑色の髪を持つ女の子は、神に人間としての命を与えられたきゅうりの化身です。

神様は残酷でした。命を与えただけで満足し、その後はどうでもよかったのです。

きゅうりの女の子を、きゅうり畑に放置しました。

生まれたばかりの彼女は、きゅうりを食べて飢えを凌ぐしかありませんでした。し

かし、それにも限界があります。

ある日のことです。そのきゅうり畑を、一人のおじいさんが通りかかりました。彼

は女の子を発見するなり、腰を抜かしました。無理ありません。3歳ほどの女の子

がきゅうり畑で横たわっていたのですから。

「おい君、どうしたんだ。どこから来たんだ。名前は？」

あどけない表情で、少女は応えました。

「あたしは……わからない」

「えっ？」

「あたしは、神様に命を貰ったきゅうりなの。それ以外、何もわからない」

「ふーむ、そうか」

おじいさんは小首を傾げ、そして決意しました。

「お前さん、行くところが無いのなら、私のところに住まんか？」

「いい、の？」

「ああ、構わんよ。どうせ一人暮らしじゃ。一人寂しく老いを迎えるより、お前さん

がいた方が数倍楽しいじゃろう」

「ありがとう。お世話になります」  
そして二人は一緒に住み始めました。

二人は、それはそれは幸せに暮らしました。きゅうりの女の子はきゅうり姫と名付

けられ、おじいさんにとっても可愛がられました。

しかし、二人の幸せを邪魔するものが現れました。きゆうり姫が15になった春のことです。

おじいさんが、重い病気にかかってしまいました。どれだけ薬を飲んで治らず、

日が経つに連れおじいさんの体は弱っていきました。病床に伏すおじいさんに、きゅうり姫は言います。

「おじいさん、頑張ってください」

「きゅうり姫、私はもう無理だ。今日で、お迎えが来るだろう」

「諦めないで、あたしがついていきます」

「いや、自分のことは自分がよくわかるもんじゃ」

「きゅうり姫、お前と過ごした時間、とても楽しかったよ」

「短い間じゃったが、私の地味な人生の華が咲いたようじゃった」

「お前の華は、もつと咲き誇る。私が死んだ後、私のことは忘れて、幸せになるんだよ」

そう言い残して、おじいさんは死んでしまいました。

「ペンギンちゃん……！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！」

おじいさんの名前は、『ペン』といいます。

# Fin

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9697f/>

---

きゅうり ペン おじいさん

2010年12月26日14時42分発行